

シニア通信

もくじ

募集.....P1
 24年度の活動方針・
 予算・行事予定・役員改選.....P2
 23年度の主なトピックス.....P3
 各地の活動から.....P4

発行日/平成24年4月25日

【発行】東員町シニアクラブ連合会
 【編集責任者】小川嘉和
 【事務局】東員町ふれあいセンター内
 東員町山田2013 TEL0594-76-1560

東員町高齢者のつどい



シニアcafe「ドラムサークル」



講師募集！

東員町シニアクラブ連合会では、みずほ教育福祉財団から助成金を得て、60歳以上の皆さんを対象に、健康増進、生きがいづくり、トモダチづくりにつながる「軽スポーツ・カルチャースクール」＝シニアいきいきサークル（仮称）を新たにに取り組むことになりました。

そこで………当サークルのプログラムにご参画いただける『講師』の方々を募集します！

ご自分のこれまで培った技術・資格・経験を、この機会に是非いかしてみませんか？？

開催場所や登録条件に関する詳細は、メールまたは電話にてお問い合わせください。

たくさんのご応募お待ちしております。



募集ジャンル	健康・美容・体操・生活文化など広く募集致します。色々ご相談下さい。
応募資格	明るく、元気のある方。また意欲のある方大歓迎！！
応募先	東員町シニアクラブ連合会 事務局 電話/76-1560 FAX/76-1559 Email/fukushi@toinshakyo.or.jp

参加者募集！

ペタンクセミナー

※ペタンクとは………

地面に描いたサークルを基点に、金属製のボールを投げ合って得点を競うニュースポーツ。

どなたでも気軽に取り組みます。

日時 5月12日(土) 9:00～12:00 雨天予備日/5月19日(土)

場所 陸上競技場多目的グラウンド

受講料 800円（保険代含む）

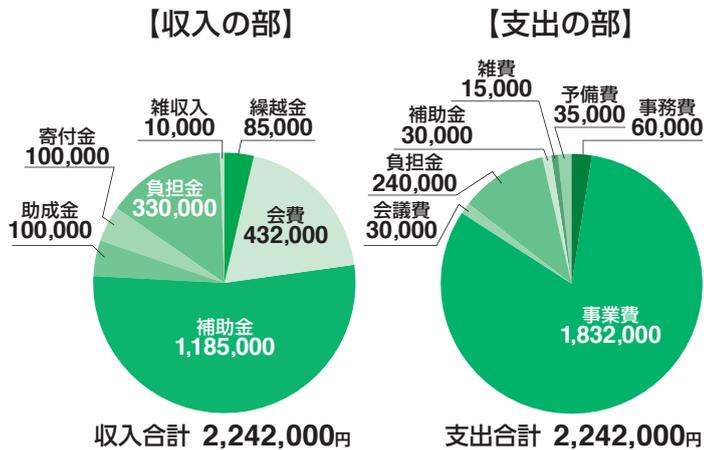
申込先 とういんフレンドリークラブ事務局 総合体育館内 電話28-8090

24年度の活動方針

- 高齢者＝サービスの受益者(受け手)という固定観念に囚われない、今日の時代状況と東員町自身の地域性に応じた高齢者福祉の推進と、地域福祉全体の推進役(担い手)としての自覚をもって活動に取り組みます。
- 2千人を超える会員数、町内各所で取り組まれているボランティア活動など、地域全体に果たしている役割の規模・成果と、それらを支える組織基盤が合致していないため、今後は、ヒト・モノ(場所)・カネ(財源)といった、組織基盤の強化を図ります。
- 笹尾・城山地区については、神田・稲部・三和地区よりも加入率が低い一方、高齢化が一気に進展する見込みとなっていることから、重点的に加入促進を行い、自治会単位で1つのシニアクラブを目指します。
- 他の団体や機関が実施している事業との重複を避ける、新規事業では最終的に担い手をつくり独立できるように応援する、他の団体や機関とタイアップするなど事業の効率化を推進し、相乗効果が得られるように努めます。

以上を念頭に置き、平成24年度の事業計画を着実に推進して、『誰もが健康で安心して生きることが出来るまち』の実現を目指します。

24年度予算 (単位:円)



役員改選

任期満了に伴い、新たに次のとおり新役員が選出されました。

役職	氏名	住所
会長	小川嘉和	八幡新田
副会長	伊東謙三	笹尾東3丁目
副会長	諸岡志づ子	鳥取
事務局長	佐藤美義	南大社
会計管理者	尾宮幸夫	中上
女性部長	佐藤静子	穴太
監事	中村宗夫	山田
監事	富永はる子	長深

(任期/平成24年4月1日～平成26年3月31日)

24年度行事予定

月	予定日	行事名	月	予定日	行事名
4	18日	第1回企画委員会	10	3日～10日	県文化作品展
	25日	第1回理事会		4日	全国老人クラブ大会(50周年記念大会)
		シニア通信No.4 発行		5日	県老人のつどい(50周年記念大会)
5	12日(19日)	ペタンクセミナー		10日	第5回企画委員会
	23日(28日)	第26回連合会グラウンドゴルフ大会		16日(23日)	第1回連合会パークゴルフ大会
6	13日	第2回企画委員会	24日	第5回理事会	
	20日	第2回連合会ペタンク大会	11	4日	東員福祉まつり 連合会ウォーキング大会
	22日	県老連 シニアカレッジみえ開校式		12日	会員交流会
	27日	第2回理事会		20日	県老連 シニアカレッジみえ卒業式
	28日	第37期シニアカレッジ入学式		21日	第6回企画委員会
28日～29日	東海北陸ブロックリーダー研修会(愛知県)	12	5日	第6回理事会	
7	9日～10日		役員先進地視察研修	2	13日
	20日	県老連 リーダー中央研修会	27日		第7回理事会
8	8日	第3回企画委員会	3	6日	第37期シニアカレッジ卒業式
	22日	第3回理事会		13日	第8回企画委員会
9	5日	第4回企画委員会		27日	第8回理事会
	15日～21日	老人の日・老人週間	シニア通信No.5 発行		
	19日	第4回理事会	他	未定	シニアcafé
	20日	全国一斉「社会奉仕の日」		未定	介護予防講座
	24日～10/1日	第8回シニア文化作品展		未定	シニアニューライフ応援事業
	28日	高齢者のつどい(福祉大会・芸能大会)			

23年度の主なトピックス

シニアcafe

3月2日(金)、東員共同福祉施設2階多目的ホールで開催し、50名の方が参加されました。

今回は、東京から青葉航さんをお招きして「ドラムサークル」を体験した後、「ワールドカフェ方式による交流会」で、参加者全員がテーブル別に着席し、テーマに沿って自己紹介から対話を重ね、交流を深めました。



東員町高齢者のつどい

10月7日(金)、東員町総合文化センターひばりホールで開催し、714名の方にご来場いただきました。

第1部の第6回東員町シニア福祉大会では、小川会長から「今後急激に上昇する東員町の高齢化にあって、シニアクラブに求められている地域からの期待にしっかりと応えていきましょう。」と挨拶があり、続いて、長年にわたりシニアクラブ活動に多大な貢献をされた4名の方が小川会長から表彰されました。

第2部「第18回東員町シニア芸能大会」では、過去最高だった昨年を凌ぐ「全39組(カラオケ25組&演芸一般14組)」が参加され、前半「カラオケ」・後半「演芸一般」で、日頃の練習の成果を思う存分発揮されていました。

※表彰を受けられました皆様(敬称略)

- ・石川正春(山田共栄会) ・伊藤 寛(山田共栄会)
- ・水谷宏三(長深長和会) ・一色義美(南大社ハッピー)



東日本大震災支援『元気袋』

9月26日(月)、保健福祉センターにおいて、東日本大震災の被災地へ『高齢者のまごころ』を届けようと、日用品や激励メッセージなどを入れた『元気袋』を作製し、福島県へ送りました。

この取組は、全国老人クラブ連合会が、『シニア(老人)クラブは、救援の前面に立つことはできなくても、高齢者のまごころを届け、ともに痛みを分かち合うことはできる』と、全都道府県・市町村老人クラブへ呼びかけられ、日本中のシニア(老人)クラブで取り組まれました。

東員町でも、6月から、町内にある各单位クラブの女性会員が中心となって、手づくりの袋を作り(布はリサイクルや端切れ等を使用)、その袋に、未使用のタオル、歯ブラシ、石鹸、筆記用具、ポケットティッシュなどの生活必需品と、贈り主の激励メッセージを詰め、被災地の1つである福島県老人クラブ連合会へ送りましたところ、後日、福島県老人クラブ連合会から感謝状が届けられ、改めて今後も継続して出来る支援に努めていくことを確認しました。



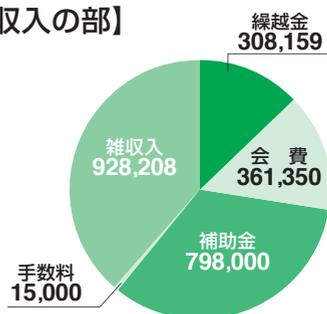
介護予防講座

2月21日、3月6日、3月13日の全3回の日程で、昨年に引き続き、NPO福祉ネットどんぐりの服部綾水さんを講師に招いて開催しました。各地区の女性部長を中心に30名の参加者が、受講後、各地区で「介護予防推進員」となって会員の指導にあたることを目指し、認知症や介護予防についての講話から、楽器、ゴルフボールなどを用いた身体活動、歌唱活動、ゲームなど多彩なメニューを楽しみながら、今後に活かせるスキルアップに励みました。

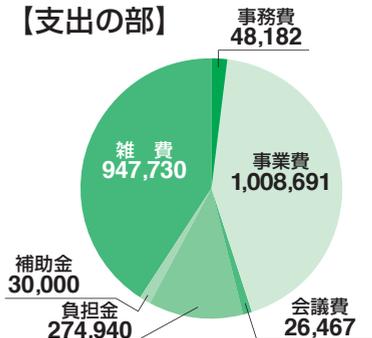


23年度決算 (単位:円)

【収入の部】



【支出の部】



収入合計 2,410,717円 - 支出合計 2,336,010円
74,707円を翌年度に繰り越します。

各地の活動から

～町内の単位クラブを
シリーズで紹介していきます～

今回は、
・穴太弁天会
・中上五和会 です。

穴太弁天会



クラブデータ 会員数/209名(男102名 女107名) 会長/三林辰美

弁天会名物 ダンスクラブのご紹介

「個人間の信頼関係、一人じゃない仲間づくり、そして奉仕の気持ち」

アロハの心を実感しながら、軽やかで上品な調べに一時を楽しんでいます。

時には、町全体で開催されるイベントにも出演し、見て頂く楽しさも味わいました。

その楽しさを味わう為には、心を合わせることが大切で、長く続けることが理想。結果として体力づくりにもつながるなど、楽しく日々取り組んでいます。



中上五和会

クラブデータ 会員数/224名(男94名 女130名) 会長/近藤武司

五和会の概況

私たちが住む中上地区は、南部丘陵地に「西山、新野」という古墳時代の遺跡があり、古くから人々が暮らしていたところです。現在、地区内に5つのコミュニティがあり、この5つの和を大事にしようという願いから、五和会という愛称が生まれました。会員の対象は、数え年65歳以上の方。毎年新たな対象者に入会の勧誘を行いながら、ここ10年間は230名前後の会員数で推移していますが、若手の入会者は減少しているため、一人でも多くの方に参加していただくよう頑張っています。

五和会の活動拠点

関係各位のご厚意とご尽力により、念仏大橋南詰西のところ、五和会が誇る活動拠点として「中上ふれあい広場」があります。隣にはグラウンドゴルフ場も開設され、会員の憩いの場、親睦を深める場として大いに活用しています。

五和会のボランティア活動

地域社会奉仕の一環で、中上構造改善センターの草取りと清掃を、年5回会員総出で参加し行なっています。さらには、180名ほどの会員が、子どもたちの下校時防犯パトロールを行い、子どもたちとのふれあいを楽しみながら、見守り活動を行っています。

伝統の食事会

伝統の食事会では、女性部による手作り味御飯を、会員の皆さんに味わっていただき大変好評を得ています。今後も、地域社会の一員として、地域行事には積極的に参加し、様々な皆さんと交流を深めていきます。

